

様式2 (第4関係)

パブリック・コメント制度に基づく意見等募集に係る実施結果票

パブリック・コメントの実施状況	
案 件 名	島田宿大井川川越遺跡整備基本構想
案件概要	島田宿大井川川越遺跡を文化財として保護・活用に努めるとともに、地域住民の生活向上や観光の振興を図り、地域の活性化を目指す。
募集期間	平成29年2月8日(水)から平成29年3月10日(金)まで
担 当 課	教育部 文化課 文化財係

パブリック・コメントの結果			
提出状況	1 意見提出者数	1 人	
	2 提出された意見数	件	
反映状況	1 反映した意見	件	
	2 既に盛り込み済みの意見	1 件	
	3 今後の検討課題とする意見	件	
	4 反映できない意見	件	
	5 その他	件	
No.	項目	市の考え方	反映結果
	意見の内容		
1	観光客が想像できる案内板を	観光資源としての価値の高い川越遺跡の魅力を発信するためには、案内看板の果たす役割は大きいと認識しています。そのため案内板、説明板の整備についてはAR(仮想現実)の技術導入も検討し、川越しの歴史を理解し易い整備基本計画を立てて取り組んでまいります。	2 既に盛り込み済みの意見
	<p>現在設置されている案内看板は、観光客にとって分かりにくい。説明不足のことが多いのではないかと感じる。書かれている中身がこの土地に住んでいる者しか分からないような内容になっている部分もあるのではないかと。</p> <p>その場所が復元されていなくても、歴史が好きな人はその当時を想</p>		

<p>像しながら歩くのが好きなのではないか。その想像ができる入り口を提供してあげられるような案内板を設置したらよいと思う。</p> <p>NHKで放送されている「ブラタモリ」が参考になる。あの番組はすでに普通の町になってしまったところを歩き、その中で少しでも残っている歴史の跡や手がかりを分かりやすく説明し、当時を想像しながら歩いて貰えるような番組づくりをしている。</p> <p>来た人に楽しんで貰える建物を復元するのはもちろん重要なことであるが、完成した町並みを作るには費用も時間がかかると思う。まずは、その場所に当時あったものを想像して楽しんで貰えるような案内板を所々設置していくことから手掛けていったらどうか。</p>		
---	--	--